

# 新署長さん こんにちは

多治見税務署長

こんどうあきひろ

近藤晃弘 氏 (57歳)

## インタビュー

### インタビュー

広報委員長：高垣 守宏  
広報副委員長：松井 啓至  
副会長：舘林 慶二  
大脇 慶二

本日は、この7月の定期異動で多治見税務署に着任されました近藤署長に広報委員会からインタビューに伺いました。

### —前任地はどこですか？

前任は、愛知県西尾市の西尾税務署長でしたので、2年連続での署長職となります。

昨年は初めての署長職ということで、仕事の面でも気持ちの面でもあまり余裕がなく一年を終えた印象を持っていますが、今年は2年目となりますので、先を見据え余裕をもった一年となるよう過ごしていきたいと思っています。

### —ご出身を教えてください。

静岡県の浜松市出身で、現在は愛知県知立市に家族と住んでいます。

私がこの職場で最初に赴任した税務署が、偶然にも地元の浜松税務署(現浜松西税務署)であり、その後も

二度、浜松西税務署の勤務があるため、通算10年もの間、浜松で勤務していることになります。

浜松には様々な名所やイベントがありますが、個人的に好きな場所が、NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」でも有名になった、井伊直虎ゆかりの地でもある「龍潭寺」です。本堂の日本庭園は丁寧に手入れされ、その場に佇んでいると、どこかゆったりとした時間が流れているようで、何とも心穏やかな気持ちになり、身も心も癒される感じがします。

浜松方面へ行く機会がありましたら、是非一度ご覧いただければと思います。

そして、浜松といえbaumなぎ、前任地の西尾は三河一色産のうなぎで有名です。多治見も多くのうなぎ屋さんがあるということですので、うなぎ繋がりと言い



ますか何かご縁のようなものを感じますね。

### —東濃地方の印象はどうでしょうか？

やはり、東濃地方と言いますと美濃焼に代表される「やきものの町」といった印象を持っています。古くからの伝統を守りつつ、新しい作品を生み出している地域だなあと感じています。

先日も、休日を利用して「多治見市モザイクタイルミュージアム」や「とうしん美濃陶芸美術館」へ行ってきましたが、魅力的な作品等が展示されており、非常に楽しいひと時を過ごすことができました。

私自身、多治見税務署の勤務は初めてとなりますし、東濃地方についてもまだまだ勉強中ですが、自宅から車で1時間程度と比較的短時間で来ることができそうですので、これからも東濃地方の魅力を満喫していきたいと思っています。

是非、お薦めのスポットやおいしいお店等ありましたら、教えていただくと幸いです。

### —さて、人生観

#### 座右の銘について、お伺いします。

特に持ち合わせていませんが、「どうせやるなら、前向きに楽しく」を自身のモットーにしています。嫌なことでも、どうせやらなければいけない事なら、嫌々やるよりは楽しくやったほうが良いと思いますし、経験上、楽しくやった方が良い結果に繋がっていると思います。

### —趣味を教えてください。

趣味も特段持ち合わせていませんが、これからやってみたいことの一つに国内旅行に行ってみたいなと思っています。

仕事やコロナ等の影響もあり、ここ数年旅行に行けていないこともあります。まだ行ったことのない四国に行くことが当面の目標です。

特に高知県の四万十地域で、大自然と清流、美味しい食事など、ゆったりと過ごしたいなと思っています。

### —税務行政の方針

国税庁の使命である「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ため、納税者の利便性の向上に努めるとともに、適正かつ公平な課税と徴収を実現していきたいと考えています。

税務当局においても、デジタル技術の利点を最大限に生かし、税務行政のデジタルトランスフォーメーション(デジタルを活用した、国税に関する手続や業務の在り方の抜本的な見直し)を進めていくことが重要だと思っています。具体的には「あらゆる税務手続





## —法人会に期待されることは？

多治見法人会におかれましては、「税」の良き理解者、「地域の税のオピニオンリーダー」として、また、良き経営者を目指す団体として、会員の皆様の自己啓発を積極的に支援し、納税意識の高揚と企業経営及び社会の健全な発展に寄与してこれ、大変心強い存在であると考えています。

また、e-Taxの普及拡大につきましても、会員各企業や役員企業の皆様のご理解とご協力の賜物だと理解しており、改めまして感謝申し上げます。

先ほど申し上げましたが、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という国税庁の使命を果たすためには、法人会の皆様方のお力添えをいただければ到底成し得ることはできないものと考えています。

税務署としましても、皆様方と十分に意思疎通を図りながら、更なる良好な信頼・協調関係を築いていきたいと考えていますので、今後とも税務行政に対する力強いご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

が「税務署に行かずにできる社会」を目指し、法人・個人における確定申告のe-Taxによるデジタル化、納付手段の多様化とキャッシュレス納付の推進、納税証明書発行の電子化・簡便化、納税相談の効率化・高度化など「納税者の利便性の向上」に努めてまいります。

また、「適正かつ公平な課税と徴収」につきましては、「正直者には尊敬的、悪徳者には畏怖的」(昭和24年の国税庁創設時に米国歳入課長のハロルド・モス氏から贈られた言葉)を肝に銘じ、正直に生きている人が損をすることがない仕事をするよう、職員へも指導していきたいと考えています。

基本照れ屋だとおっしゃる近藤署長。イベントでの税金博士を緊張の面持ちで引き受けて下さいました。ビールが大好きということですので、これから酒席を介して多治見にどっぷりなじんでいただきたいと思います。本日はお忙しいところ誠に有難うございました。

